

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	426	2年	後期	臨床検査学科	必修	臨床微生物学Ⅱ Clinical Microbiology Ⅱ	15	1
担当教員								
美間 健彦	安川 正貴							
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	○ ② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	○ ③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	○ ④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
ウイルスとは何か、ウイルスの構造と形態およびウイルスの分類についての知識を修得する。各種病原ウイルスの性状および病原性についての知識を修得する。ウイルスの検査法についての知識を修得する。								
到達目標（授業目標）								
① ウイルスの構造と形態を説明できる。								
② ウイルスの分類を説明できる。								
③ 新興・再興感染症、人獣共通感染症を説明できる。								
④ 各種病原ウイルスの性状および病原性について説明できる。								
④ 検体の取扱法や検体中のウイルス分離・検出法、血清学的検査法および遺伝子検査法について説明できる。								
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	ウイルス学総論（1）：ウイルスとは、ウイルス学の歴史、ウイルスの構造と形態について講義する。：安川 正貴							

2回	ウイルス学総論（2）：ウイルスの分類、感染様式と伝播、ウイルスの不活化、ウイルス感染症の予防と治療について講義する。：安川 正貴
3回	ウイルス学総論（3）：新興・再興感染症、人獣共通感染症などについて講義する。：安川 正貴
4回	DNAウイルス（1）：ポックスウイルス、ヘルペスウイルス、アデノウイルスなどについて講義する。：美間 健彦
5回	DNAウイルス（2）：パピローマウイルス、ポリオマウイルス、パルボウイルスなどについて講義する。：美間 健彦
6回	RNAウイルス（1）：オルトミクソウイルス、パラミクソウイルス、トガウイルス、フラビウイルス、レトロウイルスなどについて講義する。：美間 健彦
7回	RNAウイルス（2）：フィロウイルス、アレナウイルス、コロナウイルス、ピコルナウイルス、レオウイルス、ラプトウイルスなどについて講義する。：美間 健彦
8回	ウイルス検査法：ウイルス分離・検出法、血清学的検査法、遺伝子検査法、ウイルス検査検体の採取法について講義する。：美間 健彦
9回	
10回	
11回	
12回	
13回	
14回	
15回	
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
定期試験（筆記試験）（安川分30%、美間分70%）で評価する。トータル60点以上を合格とする。	
教科書	松本哲哉 編「最新 臨床検査学講座 臨床微生物学」（医歯薬出版）
参考図書等	吉田真一・柳 雄介・吉開泰信 編「戸田細菌学」（南山堂）
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）	
前回の項目について、配布プリントおよび教科書等を参考に復習してください。次回の項目について、教科書等を参考に予習してください。	
関連科目	

前科目	424	微生物学								
後科目	427	微生物学実習	428	臨床微生物学実習	444	院内感染管理学	448	臨地実習Ⅲ	449	医学検査診断学Ⅰ
実務家教員										
医師（医療機関）	安川 正貴									
備考										